

# 海外校との協働プロジェクト開発と SGH校間の連携について



筑波大学附属坂戸高等学校

岡 聖美、建元 喜寿、吉田賢一

キーワード: 国際連携協定、アセアン、中間支援、SGH校生徒成果発表会、現職教員派遣制度

# 本日の内容

- 1) 筑坂が取り組んでいること
- 2) 共通の課題に日伊の高校生がとりくむ国際FW
- 3) 第2回全国SGH校生徒徒成果発表会
- 4) 第1回日本インドネシア高校生ESDシンポジウム  
In Indonesiaへのお誘い
- 5) 質疑応答(A4の紙で、BSをできれば)

# 筑坂について1



創立:1946年  
1学年4クラス

1994年より総合学科(日本初発)  
所在地は埼玉県(茨城県ではない)

# 筑坂について2

Welcome  
to UTSS



農場: 22,230m<sup>2</sup>

いぜんは、ダチョウがいました。

# 筑坂とSGHの関係

- 課題研究は、20年やっている。
- キャリア教育やESDも総合学科の得意分野
- これから新たに海外とのプログラムをはじめめるのではなく、実績に基づいた国際FW
- 現場に赴き、現場を知り、ステークホルダー間のつながりに配慮できるリーダーを養成しないとけない。それも筑坂は得意
- 20年経過した総合学科のその先を作るのがSGH

# 筑波大学AIMSプログラムとの連携



# 3年間の構造

3年次…探求力

## 国際的視野にたったSG課題研究合宿

2年次の経験に基づくテーマ設定  
英語による論文作成  
大学におけるゼミ指導

## 国際特別演習

学会等での発表  
研究機関での活動  
NPOとの活動

### 世界にはばたく！（育成Ⅱ）

2年次…実践力

## 国際フィールドワーク（課研）

（インドネシア3週間）  
100年の森プロジェクト  
海外の高校生と協働

## 高校生国際ESDシンポジウム

（日本での開催）  
5カ国の高校生参加  
国際会議の企画運営

国際社会との関わり方  
を考えた**専門教育**

グローバルな学び方を学ぶ  
**国際科科目群**

英語＋1の語学力  
**インドネシア語講座Ⅱ**

### グローバルリーダーの素質を高める（育成Ⅰ）

1年次…地球市民性の醸成

**キャリアデザイン**（海外経験者の講話、  
グローバルリーダーとの交流）

**インドネシア語講座Ⅰ**（世界には英語だけ  
ではなく多様な言語があることを知る）

**社会と情報**（授業を外国語教員とITで実  
施、英語による情報発信技術の習得）

**家庭基礎**（日常生活と世界とのつながり  
に気づく内容を重視する。**グローバルラ  
イフ**）

**海外校外学習**（2年生での実施から1年生  
へ移行。早期の海外経験の機会確保）

**コミュニケーション英語**（現場での運用力  
を高める工夫を加えたカリキュラム開発）

### グローバルリーダーの素質にめざめる！（基礎力と人材発掘）

# 国際FWで大切にしていること

- 現地の先生、高校生と一緒に取り組む

→Post “Post-truth”の時代を創り生きる力

- 見学、提案で終わらない

## Study Tourから Field Workへ

→協働力の育成

- 次年度につながるものにする

→プロジェクトの持続可能性と改善

# SGH前の研究活動例1



インドネシアで問題になっている、生ごみの問題を解決するために、その土地にある材料を使って、ゴミを肥料に変えて有効利用する研究

英語が苦手だったが、3年生の時は、海外からの来客に自分の研究を英語で紹介  
インドネシア語の先生を探し出して、学校でインドネシア語講座をはじめる！

テーマ1: 在来の素材を利用した日本とインドネシアにおける堆肥作りに関する研究

# SGH前の研究活動例2



インドネシアから日本に派遣される看護師候補生の皆さんが、いろいろ苦労されているなかで、高校生の自分にできることをみつけて実践

看護師志望のなかでインドネシア人看護師問題にであう  
インドネシアのNGOと自分でコンタクトをとる。  
国際ゼミを自主的に開いて、後輩にも学ぶ機会を提供

テーマ2: EPA経済連携協定によるインドネシア人看護師候補生の日本派遣に関する  
問題点の抽出と高校生に可能な活動の実践に関する研究

# SGH前の研究活動例3



インドネシアで森を切らなくても住民が生きていけるように、地元にある農産物を利用した特産品の開発を行う

ジャムが苦くて難しいとなったとき、停電が起こりやすいバリ島を  
考えて、みかんの油を利用したミキャンドルを提案し、キンタマー二高校の生徒が作成  
アグロフォレストリーと連動した商品開発

テーマ3:バリ島における日本とインドネシアの高校生による特産品づくり

# SGH国際FWのながれ

## 選抜・事前学習(3月～7月)

- 全校生徒対象に説明会を開催し公募。一次(書類)、二次(面接)審査を経て派遣生徒を選抜。
- インドネシア語講座の開設、インドネシアに関する講義、校内合宿
- 3校の選抜者の名から各校代表者2名リーダーを選び事前に計画を作る

## 海外フィールドワーク(8月)

- SNS等で3校の生徒が連絡を取り合いながらフィールドワークを準備。
- 環境班・教育班・地域開発班の3チームを作り、3校合同チームで実施
- 現地調査にもとづくアクションプランを作成し、活動も実施する

## 事後学習・次年度へのつながり(9月～2月)

- 高校生主導で国際ESDシンポジウム(インドネシア、タイ、フィリピンの高校生が参加)を実施し、FWの成果を含めて英語による研究発表を行う。
- 文化祭での発表
- 3年生は、個人テーマ設定し、研究活動を継続する。
- 3校合同で振り返りを行う
- 卒業生を含めて、引き継ぎ校内合宿を行う

# 現地校との協働



筑坂

総合学科

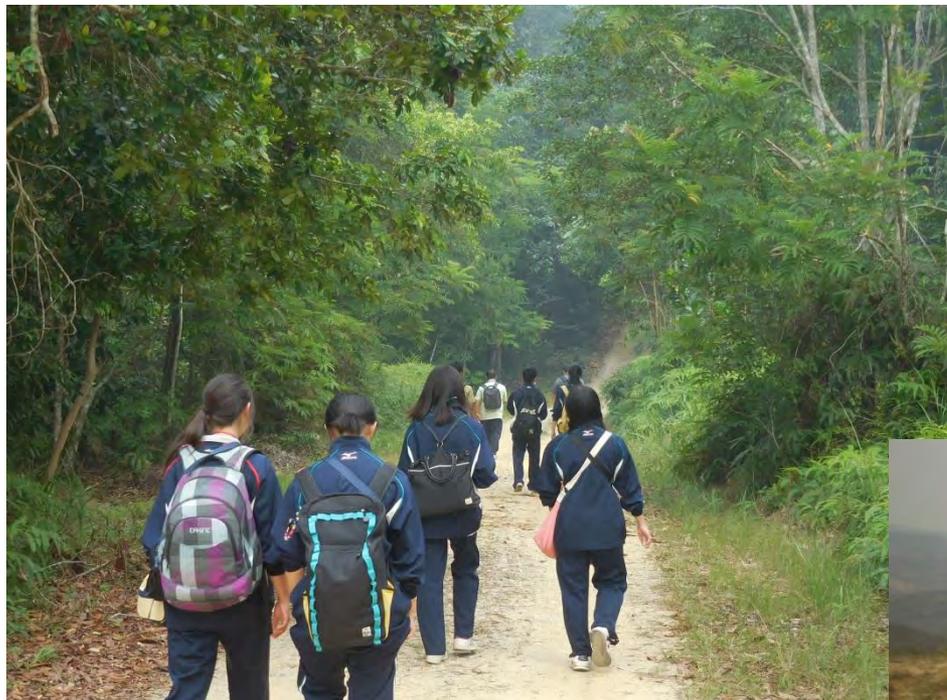
ボゴール農科大学  
コルニタ高校

普通学科

インドネシア環境林業省  
附属林業高校

専門学科

# 共通課題の設定：森林の保全



2015年FW@スマトラ島プカンバル

日本にも破壊の原因が

パーム油と日常生活@グローバルライフ



# Study Tourから Field Workへ



# 話し合い、話し合い、話し合う



# 一緒に計画をつくり



# 現場に赴き



そしてまた話し合い、話し合い、・・・





# それぞれの良さをいかして実践



# 最後は、環境林業省職員へ発表



# 活動を継続させるために



海外連携校の先生方と  
継続的に意見交換



国際連携協定の締結

# 活動を深化させるために1



**現地にコミットできる教員の育成**

**JICA青年海外協力隊・現職教員派遣制度の活用**

# 活動を深化させるために2



卒業生へ協力要請

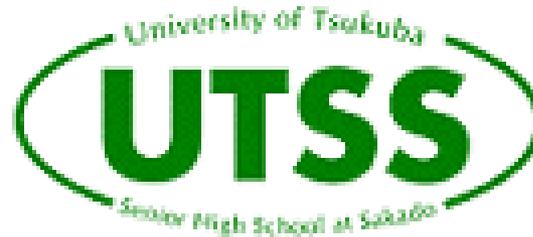
# FWへの情報提供



# 第2回全国SGH校生徒成果発表会



# オープンプラットフォームスクール



筑坂  
総合学科



中間支援者として様々なステークホルダーをつなげる



# ESD Symposium @ TOKYO 2016

food science

食品科学



Fukushima's vegetable  
福島県の野菜

After 10 years ...

震災後復興が難しい福島県の特産物を使った食品を開発し、日本だけでなく海外にも食べてもらい、PRをして復興に繋げる。



# ESD Symposium @ TOKYO 2016

education for girls

女性教育



programming  
プログラミング

After 10 years ...

女性教育の向上のためには、地域内の慣習を変えることが必要。そのためには、教員に対する研修の考え方を改める必要がある。地域では、プログラミングの新しい授業を行うことで、その意識と男女間での差を減らして、女子が伸び伸びと活躍できるようにしたい。グローバル時代の見方が変わってきている。プログラミングの分野で活躍する人材が不足している。一人二鳥。



# ESD Symposium @ TOKYO 2016

The use of Thai herb Rang Jued to inhibit  
Cancer cells - Pew



An Ideal welfare and  
health care system

After 10 years ...

an early notice of cancer and new way  
to cure.



# ESD Symposium @ TOKYO 2016

Sakina Arai;  
Daisy Rahma Rizal  
Yui Katahira



Norika Matsuo  
Sana Takahashi  
Haruki Naga;  
Kazuki Takamari

After 10 years ...

We have some prejudice or bias in Japan for minorities. So, we think that education of human rights is important. Why don't we learn ~~not only~~ human rights as well as math or something!!

# 20年後の世界への投資として



日本の大学で、インドネシアの大学でともに学び、  
新しい世界を創っていく

# Our New Challenge !

第1回日本インドネシア高校生ESDシンポジウム@インドネシア



2017年8月上旬を予定しています。興味のある学校の皆様、一緒につくりましょう！

ありがとうございました

第20回総合学科学研究大会、  
第3回SGH研究大会@坂戸

平成29年2月17日(金)、  
18日(土)  
の2日間です

筑坂産の農産物でおもてなしします

# 質疑応答

A4の紙1枚につきひとつご質問をお書きください。そのあと、黒板におはりください。